

2016年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

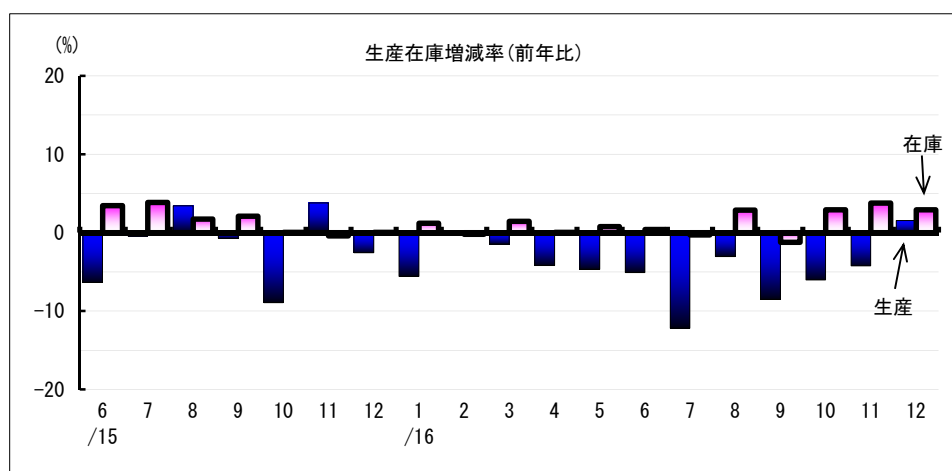
化学繊維生産は 76,124 トン、前年同月比 1.5%増、うち合成繊維生産は 59,203 トン、同 1.6%の減であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 13.3%増の 7,714 トン、アクリルSは同 13.7%減の 8,862 トン、ポリエステルFは同 5.9%減の 9,712 トン、ポリエステルSは同 11.8%減の 9,090 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫（生産者）は 90,987 トン、前月比 1.7%減、前年同月比 2.9%増、うち合成繊維在庫は 75,202 トン、前月比 2.1%減、前年同月比 0.1%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 10,661 トン、前月比 0.05%減、アクリルS 12,608 トン、同 6.1%減、ポリエステルF 10,490 トン、同 2.6%減、ポリエステルS 18,453 トン、同 1.2%の減であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先：日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本

TEL : 06-6231-6784

表1. 2016年 12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	16,921	16,487	434	102.6	114.2	169,340	98.1
ナイロンF	7,714	6,833	881	112.9	113.3	89,414	99.9
アクリルS	8,862	7,975	887	111.1	86.3	127,116	89.8
ポリエステルF	9,712	10,731	-1,019	90.5	94.1	123,856	97.0
ポリエステルS	9,090	7,055	2,035	128.8	88.2	111,436	83.0
ポリプロピレンF	5,993	6,167	-174	97.2	106.1	74,651	97.6
ポリプロピレンS	5,088	5,388	-300	94.4	105.5	60,301	106.6
その他	12,744	12,773	-29	99.8	106.4	159,798	99.2
合繊維計	59,203	56,922	2,281	104.0	98.4	746,572	94.8
合計	76,124	73,409	2,715	103.7	101.5	915,912	95.4

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	15,785	15,717	68	100.4	120.3
ナイロンF	10,661	10,666	-5	100.0	99.5
アクリルS	12,608	13,425	-817	93.9	113.8
ポリエステルF	10,490	10,772	-282	97.4	88.7
ポリエステルS	18,453	18,684	-231	98.8	94.3
ポリプロピレンF	792	795	-3	99.6	82.3
ポリプロピレンS	5,710	5,830	-120	97.9	97.2
その他	16,488	16,627	-139	99.2	108.1
合繊維計	75,202	76,799	-1,597	97.9	99.9
合計	90,987	92,516	-1,529	98.3	102.9

表2. 合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2015年12月	6,807	96.1	83.8
	2016年7月	7,789	107.1	96.6
	8月	8,566	110.0	105.6
	9月	7,824	91.3	101.5
	10月	5,830	74.5	89.0
	11月	6,833	117.2	96.5
	12月	7,714	112.9	113.3
	アクリルS	2015年12月	10,263	103.2
2016年7月		11,263	94.9	79.6
8月		11,334	100.6	83.0
9月		10,527	92.9	89.9
10月		10,492	99.7	90.9
11月		7,975	76.0	80.2
12月		8,862	111.1	86.3
ポリエステルF		2015年12月	10,320	102.0
	2016年7月	10,524	100.0	97.0
	8月	10,872	103.3	100.8
	9月	9,835	90.5	97.5
	10月	10,441	106.2	95.5
	11月	10,731	102.8	106.1
	12月	9,712	90.5	94.1
	ポリエステルS	2015年12月	10,311	109.8
2016年7月		9,849	104.0	82.5
8月		9,304	94.5	81.0
9月		9,470	101.8	82.3
10月		7,520	79.4	89.6
11月		7,055	93.8	75.1
12月		9,090	128.8	88.2

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2015年12月	10,710	97.2	107.4
	2016年7月	12,048	102.6	105.0
	8月	13,609	113.0	109.0
	9月	13,534	99.4	110.8
	10月	11,982	88.5	106.4
	11月	10,666	89.0	96.8
	12月	10,661	100.0	99.5
	アクリルS	2015年12月	11,081	111.3
2016年7月		11,322	108.9	103.7
8月		14,048	124.1	131.4
9月		12,367	88.0	115.4
10月		14,095	114.0	127.6
11月		13,425	95.2	134.9
12月		12,608	93.9	113.8
ポリエステルF		2015年12月	11,820	95.7
	2016年7月	11,385	101.7	89.7
	8月	11,798	103.6	89.9
	9月	10,767	91.3	85.7
	10月	10,896	101.2	86.9
	11月	10,772	98.9	87.2
	12月	10,490	97.4	88.7
	ポリエステルS	2015年12月	19,559	101.5
2016年7月		21,244	104.9	97.7
8月		22,287	104.9	95.7
9月		21,161	94.9	90.5
10月		19,969	94.4	99.3
11月		18,684	93.6	96.9
12月		18,453	98.8	94.3

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<プレスリリース>

2016年1月26日（12時発表）

2016年の化学繊維生産の概況（速報）

日本化学繊維協会

2016年（年間）の化学繊維生産は91.6万トン、前年比4.6%減、うち合成繊維は74.7万トン、同5.2%減、セルロース繊維は16.9万トン、同1.9%減となった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは8.9万トン、前年比0.1%減。衣料用途は国内・海外向けともに低調、産業資材用途はエアバッグ用が堅調だった。

アクリルSは12.7万トン、同10.2%減。衣料用途は保温肌着向けが低調、毛布やカーペットなど建寝装向けは不振が続き、中国向け輸出が落ち込んだ。

ポリエステルFは12.4万トン、同3.0%減。衣料用途は全般低調に推移、インテリア用途は盛り上がり欠け、産業資材用途は建築資材向けが健闘した。

ポリエステルSは11.1万トン、同17.0%減。紡績用途はユニフォーム向けが不振、製綿用途は低位で推移、湿式不織布が堅調だった。

上記以外では、ポリプロピレンSの不織布衛材向けが堅調であった。

以上

2016年 化学繊維生産高（速報）

日本化学繊維協会

品 種	2016年 (トン)	2015年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	169,340	172,553	-3,213	98.1
ナイロンF	89,414	89,537	-123	99.9
アクリルS	127,116	141,517	-14,401	89.8
ポリエステルF	123,856	127,658	-3,802	97.0
ポリエステルS	111,436	134,239	-22,803	83.0
ポリプロピレンF	74,651	76,470	-1,819	97.6
ポリプロピレンS	60,301	56,572	3,729	106.6
その他	159,798	161,137	-1,339	99.2
合繊計	746,572	787,130	-40,558	94.8
合 計	915,912	959,683	-43,771	95.4

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。